



国民の森林・国有林

林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



11月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



グランプリ 中部森林管理局長賞「掛床」



学生の部 優秀賞 長野県知事賞「かさね」



社会人の部 部門賞「風やわらぎ」



学生の部 奨励賞 長野県木曾青峰高校の受賞者

※表紙の11月の見どころ聴きどころの投稿写真は、お休みです。

主な項目

- 本局のトピックス（「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ」受賞作品の紹介～ほか） … P 1
- 各地からのたより（令和元年度第二回目工事安全パトロールを実施～ほか） … P 4
- シリーズ「ご当地自慢」（東信森林管理署 「海野宿」） … P 9
- 森林のお仕事紹介コーナー
 - ☆ 「森林官からの便り」（岐阜森林管理署 馬瀬萩原森林事務所） … P 10
 - ☆ 「森林・林業界からの便り」（上伊那猟友会 中川支部） … P 11
 - ☆ 「林業土木業界からの便り」（株式会社 柳組） … P 12
- 12月の見どころ聴きどころ … P 13

〈本局のトピックス〉

「ブランド材を用いた新空間 デザインコンペ」受賞作品の紹介

【資源活用課】

中部局では、木材の安定供給とブランド化の取組を進めています。なかでもA材のブランド化については、新たな木材需要の開発とともに重点的に取り組んでおり、昨年度から「ブランド材を用いたデザインコンペ」を長野県と共催で実施しています。

今年度は、名称を「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ」とし、昨年度募集した、「パーティションに加え、会議室や住宅の玄関の壁面などの内装にも幅を広げ実施しました。

デザインコンペは、社会人の部と学生の部に分け、地元長野県をはじめ、昨年応募の少なかった学生からも、独創性あふれるデザインを含め、全三十九点の応募がありました。

十月三十日、長野県庁において表彰式を行い、「ミス日本みどりの女神 藤本麗華さん」に、審査員兼プレゼンターを務めていただ

き、また、審査委員長の船曳鴻紅さんからは、審査の講評がありました。受賞作品は次のとおりです。

受賞作品は次のとおりです。

各賞受賞作品の詳細は、QRコードを読み込んでください。



「掛床 (かけとこ)」^{あだち ゆきとし} 足立 幸寿 (東京都、建築設計)

狭い空間に対応した簾のようにどこにでも掛けられ、持ち運びができる「掛床」を提案します。日本の姿を映し出す床の間を、和室という概念から開放し、リビングに限らず玄関や寝室とどこにでも持ち運べる「とこのま」というインテリアとして展開させることで、日本人の心を取り戻し、日本の伝統的床の間を復活させることになるよう期待しています。
(足立さんのコメント)

グランプリ
中部森林管理局長賞

審査の講評

持ち運びや掛け直しが簡単にできる工夫がされていることから、四季や生活シーンで吊り下げの位置を変えることができる。特別な技術はいらないので低価格でできる。

社会人の部 部門賞



「風やわらぎ」^{くほ れいこ} 久保 礼子 (長野県、公務員)

審査の講評

切り込み全面で曲げ加工する発想は新鮮で、波状のデザインが興味深くさわやかな印象。

パーティションに



「かさね」^{ありま ゆき} 有馬 幸
(長野県、上松技術専門学校)

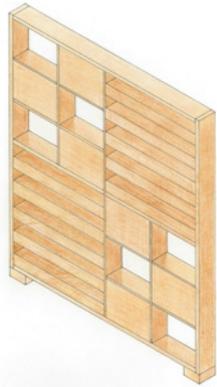
学生の部 優秀賞 長野県知事賞

審査の講評

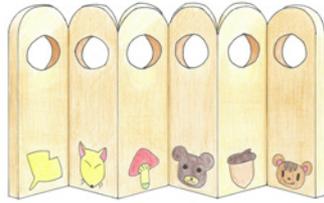
デザインとしてのインパクトがあり美しいものになりそう。可変性が高く、香りを楽しむこともできる。

学生の部
奨励賞

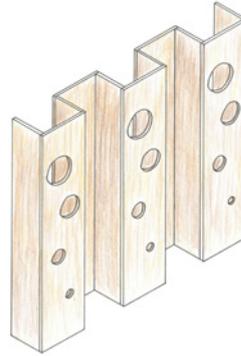
「リバーシブル」
ちの かなえ
千野 叶恵 (高校生)



「子供部屋用
パーテーション」
つかもと
塚本 ありさ (高校生)



「あぶく」
はら まひろ
原 真大 (高校生)



「パーテーション」
かわぐち りの
川口 凜乃 (高校生)



川口さん：ヒノキとカラマツの両方が用いられており、木目もしっかり見せられる。 原さん：凹凸の構成や大きさの違う輪などデザインが面白い。 塚本さん：高校生らしいデザイン。子供部屋が明るく楽しくなる。
千野さん：表裏で表情が変わる。市松模様が和室でも使用できる。



北信木材センターの職員さんと



説明を受けている様子

の説明を受けました。
女神からの激励の言葉は、職員のみなさんを元気づけてくれました。



木のペンダント作りの様子

十九日は、長野ハロウィンイベントに併せ、木のペンダント作りを行い、たくさんの小さな魔女さんや妖精さんが来てくれました。今後、笑顔あふれるイベントを企画していきます。

「2019みどりの女神」木材センターを激励

【資源活用課】

毎年十月は「木づかい推進月間」です。月間中の三十日、中部森林管理局が主催する「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ（共催：長野県）」の表彰式にコンペの審査員として、来県された「2019みどりの女神」藤本麗華さんが、表彰式終了後に台風一九号がもたらした集中豪雨により、千曲川が氾濫し大きな被害のあった、長野市穂保地区にある「長野県森林組合連合会 北信木材センター」を激励に訪れました。現地では、小池淳所長から、台風一九号の被害の状況や復旧に向けての取組などの説明を受けました。

長野ハロウィンイベントで、

木のペンダント作り

【総務課・企画調整課・保全課・技術普及課】

十四日～二十日、MIDORI 長野「りんごのひろば」において、秋の森の見どころと森での健康づくり展を開催しました。

会場では、秋の行楽シーズンにお勧めの、県内各地の森のおさんぽコースの紹介や、認知症対策にもなる森の歩き方、中部地方の各地から望む山並みの写真などを展示しました。

〈本局のトピックス〉

CSF (豚コレラ) ウイルスの

まん延防止に向けた取組

昨年9月に岐阜県の養豚場において、我が国では二十六年振りとなるCSFが発生し、管内四県(富山、長野、岐阜、愛知)において野生イノシシからCSFの陽性事例が確認されています。

現在のCSFの流行は、野生イノシシによる感染拡大が大きな要因のひとつとされており、野生イノシシのCSFまん延防止に向けて、農林水産省を挙げた取組を行っており、中部森林管理局においても、地元自治体からの要請を受けて、経口ワクチンの散布や野生イノシシ捕獲支援のため、局署職員の派遣を行っています。

【企画調整課】

長野県においては、野生イノシシのCSFまん延防止のためワクチンベルトの設置を進めており、同県からの要請に基づき、九月三十日より十一月六日までの間に、のべ五十四名の職員を派遣しています。

散布は、県内の民有林や国有林内の獣道など野生イノシシの行動が想定される箇所へ、県、市町村職員等と一班三名体制で、一日に五から十箇所程度に穴を掘り、それぞれ経口ワクチン二十個と誘引用の家畜用飼料を埋設します。散布作業にあたっては、防護服を着用するなど、普段とは異なる環境での慣れない作業であることから、慎重に作業に従事しています。



経口ワクチン散布作業の様子

【富山森林管理署】

富山森林管理署では、富山市の要請に基づき、北陸農政局とともに、野生イノシシの捕獲強化支援

のための職員派遣をすることとなり、当署からは十月二十八日から十一月一日までの一週間、職員二名が野生イノシシ捕獲作業支援業務に従事しました。



北陸農政局の担当者と打ち合わせの様子

派遣に際しては、北陸農政局の担当者と業務内容や手順について打ち合わせを行うなど準備を進め、派遣先では市民から野生イノシシ発見の通報を受け、富山市職員とともに発見場所の消毒、野生イノシシの運搬、埋設等の作業を行いました。

派遣期間中、富山市では野生イノシシのCSF陽性個体は確認されませんでした。今後も引き続き



通報を受け、発見した野生イノシシを確認している様子



防護服を試着している様子

き、北陸農政局、市町村等との連携を強化し、CSFウイルスまん延防止に協力したいと思えます。

令和元年度第二回目

工事安全パトロールを実施

【伊那谷総合治山事業所】

九月十七日、十月十日、十一月十二日の三日間にわたり、小渋川・上伊那・飯田の各地区の発注工事全現場において、今年度第二回目の工事安全パトロールを実施しました。三日間で、三地区の安全協議会員、当所職員、飯田労働基準監督署担当官が出席し、各工事現場においてチェックリストによる点検を行い、最終日には、事業所等で反省会を行いました。

今回の安全パトロールは、七月に実施した発注工事全現場の点検パトロール結果をもとに、是正事項の改善対策の確認や新たな不安要素のチェックを行うもので、毎年、工事中期から工事完成前にかけて実施しているものです。

反省会では、整理整頓の不備、荷掛ワイヤー損耗などの軽微な是正事項の指摘はありましたが、多くの推奨事項が報告されるなど、パトロールの成果が現れる結果と

なりました。

また、前回と同様に、飯田労働基準監督署の安全専門官から、専門的なアドバイスや各種基準と照らし合わせた具体的な指導、反省会の中で、労働災害の防止に向けた講義もしていただき、安全協議会員及び当所職員も熱心に聞き入っていました。

今後も安全パトロール等の活動を通じて、受注者と発注者が一体となって、実効性のある安全活動を展開し、終盤を迎える今年度工事の無事故無災害を目指していきます。



上伊那地区の山腹工の点検状況

地元住民を対象とした

国有林治山見学会を開催

【北信森林管理署】

九月二十七日、飯山市西大滝地区上流の、「野々海川水源地域整備工事」箇所において、地元住民を対象とした国有林治山見学会を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、地区長をはじめ地区住民の方々、飯山市役所関係者が参加し、当署の職員から治山事業の目的、機能等について説明を行った後、実際に施工している現地において、工事概要を説明しました。

現地は、コンクリート谷止工の新設と昭和三十五年に設置され、六十年近く経過した玉石コンクリート床固工の補修工事箇所で、丸太残存型枠に長野県産カラマツ間伐材を使用し、自然環境との調和、工期の短縮を図っていることなどの説明を行いました。

参加者からは、「この地区は過去に土石流災害が発生したところであり、住民の安全確保のために治山工事が実行され安心する」と

いった感想が聞かれました。

見学会の最後には、地区長より「今後とも、地域の安心した暮らしのために、治山事業の計画的な実施をお願いしたい」との要望がありました。

また、西大滝地区の手配によりドローンを飛行させ上流域の現状を撮影しており、十一月に予定している地域の催しで上映し、広く住民に周知したいとのことでした。

今後も地域住民の方々に国有林野事業を理解していただくため、引き続き見学会の開催等の取組を行っていきたいと思います。



治山現場見学会の様子

〈各地からのたより〉

富山県地域振興団体協議会

現地視察

【富山森林管理署】

十月七日、富山県地域振興団体協議会が主催する市町村担当課長会議及び現地研究会が南砺市及び砺波市で開催されました。

本協議会では、毎年県内各地で現地を視察し、森林の保全等をテーマに情報交換を行っており、今年度は、平成二十年の集中豪雨による山腹崩壊において実施した南砺市大牧地区の復旧治山工事及び昨年、山腹崩壊があった県所管の復旧治山事業について現地で説明会が行われ、過酷な作業現場で斜面崩壊土石を食い止める工法や



富山署管内の復旧治山工事現場視察の様子



ペレット工場の視察

安全性等を考えた新しい資機材の導入、工夫等について、当署職員等から説明が行われました。

また、相倉あいのくらの合掌造りでは、養蚕を考えた上階の建築構造や根曲がり木などの特性を生かした梁や、柱への木材利用を確認しました。

さらに、南砺森林資源利用協同組合が運営している木質ペレット工場では、地域内の森林資源を利用した木質バイオマスエネルギーの事業運営や、今後の循環型社会に向けた森林の活用方法などの理解を深めました。

今後も地域の振興に向けて、現地視察などに協力していきます。

伐採搬出現場の大変さを実感！

国有林等視察交流会を開催

【飛騨森林管理署・名古屋事務所】

十月一日、飛騨森林管理署管内一色国有林他において、「国有林作業現場等視察交流会」を開催しました。

今回は、製材業、木材市場、住宅建材供給、住宅メーカー、港湾運送業などから二十四名が参加し、国有林の木材生産、岐阜県森林組合連合会の中間工場、荘川温泉桜香の湯の木質バイオマスによる熱利用、白鳥林工協業組合の地域材の供給、巾はば接はぎパネルを視察しました。



ハーベスタの仕組みの説明を受けている様子



バイオマスボイラーを見学する参加者

国有林の間伐による木材生産現場では、チェーンソー及びハーベスタによる伐倒、枝払い、造材、グラップルによる直取り集材、フォワーダ運搬までの一連の作業を視察し、参加者からは、「間伐時の選木方法、一日あたりの伐採本数、枝葉の処理」など様々な質問が出されました。

参加者は、日頃は四角い製材品を扱っている方々が多く、初めて目にする伐採搬出作業に、「木を使うことで少しでも山に還元出来るようにしていきたい」との感想も聞かれるなど、新たな木材利用についてのきっかけとなる一日となりました。

インターンシップ受入

【東濃森林管理署】

八月十九日から二十三日の五日間、名古屋大学農学部生物環境科学科三年生の学生一名をインターンシップとして受け入れました。

今回受け入れた実習生は、「大学で学んでいる森林保護について、ニホンジカ対策等を実際に取り組んでいる現場を体験することにより知識と体験を結びあわせ、画期的なニホンジカ対策を考えた」との思いでインターンシップを希望したとのこと。



除伐作業の体験

初日は、国有林や森林管理署及び治山業務などの概要説明、二日目は、間伐調査と境界管理業務の体験、三日目は、高性能林業機械を使用した伐採造林一貫作業や低

コスト造林の現地の見学、除伐作業体験、四日目は、ニホンジカ被害対策としてシカ柵やくくりワナを仕掛ける実習、最終日は、護山神社にて初代大ヒノキの年輪板の見学を行いました。



くくりワナの設置体験

インターンシップ五日間のうち四日間が雨となり、天候には恵まれませんでしたが、実習生から、「今回の体験を通じて、漠然としていた森林管理署職員のイメージが明確になるとともに、様々な業務体験により、林業関連の仕事に興味や関心が湧きました。さらに林業に関する知識を身につけ、就職活動に取り組んでいきたい」との感想が寄せられました。

今回のインターンシップでの経験が、少しでも実習生の将来の夢に役立つことを期待するところです。

中学生の職場体験

大桑中学校

【南木曽支署】

十月三十日から三十一日、大桑村立大桑中学校二年生の生徒一名が、国有林のフィールドで職場体験をしました。

当支署において、この取組は初めてとなりますが、各分野の職員が企画から指導役まで担当し、より多くの業務を体験できる計画を立てることができました。

一日目は、支署長による国有林野事業の業務概要の説明から始まり、治山工事箇所^{（1）}の監督業務、貯木場での、丸太の材積を測る検知業務、ドローン^{（2）}を使つての伐採跡地の確認等を体験しました。



治山工事の監督業務を体験

二日目は、地元の観光スポットである阿寺溪谷内にあるお散歩マップコースやハナノキ周辺の整備、貸付地の現況確認を体験しました。



遊歩道整備でロープワークを体験

職場体験を終えた生徒からは、「ドローンを導入して作業の効率を上げているのに驚いた。とても充実した時間を過ごすことができました」との感想がありました。

今後もこのような機会を続け、地元の子供たちにも国有林を身近に感じていただけることを期待します。

〈各地からのたより〉

《各地からのたより》

緑のオーナー友の会

交流会を開催

【木曽森林管理署】

十月十七日、長野県内の分収育林契約者による第三十一回「ながの緑のオーナー友の会交流会」が、木曽森林管理署管内の赤沢自然休養林内で開催されました。

当日は、台風一九号による被災も心配されたところですが、清水会長をはじめ、東京方面や名古屋方面から会員二十名が参加され、交流会事務局である日本森林林業振興会長野支部の原支部長、有井総務部長と、木曽森林管理署員の案内により、森林鉄道への乗車、ふれあいの道の散策、昭和六十年に行われた伊勢神宮御神木伐採跡の見学などを行いました。

森林鉄道乗車中には、間近でカモシカに遭遇したために歓喜したり、また、散策では、木曽五木（ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ）の樹種毎の特徴による見分け方の説明に聞き入りました。御神木の伐採跡地では、伐根を見ながら、斧による伝

統的な三紐伐（みつひもきり）の映像を見ました。

第一回目交流会が、平成元年度に赤沢自然休養林で開催され、今回、元号が令和に代わった最初の交流会であったことに何かの縁を感じた会員も居られたようです。

中部森林管理局としても、このような機会を通じ、オーナーの皆様と直接交流し、国有林野事業の業務内容を理解いただくことは有意義なものと考えており、引き続き交流会の開催に協力していきたいと考えています。



木曽五木についての説明の様子

「国民参加の森づくり活動」

ニッセイ豊橋の

森育樹活動を実施

【愛知森林管理事務所】

九月二十八日、豊橋国有林において、ニッセイ友の会によるボランティア活動が行われました。

この活動は、国民参加の森林づくりとして平成二十三年度の植栽に始まり、その後、育樹活動として、下刈りや除伐を行ってきたもので、本年度は七十九名が参加し、枝打ち作業を行いました。



枝打ち作業の様子

当所では、事前の現地打ち合わせや安全確認などの準備に協力するとともに、当日は職員四名が参加し、技術指導にあたりました。

参加者の皆さんは、日頃歩き慣れない林内で、使い慣れない鋸を使つての作業でしたが、額からの汗を拭いながら懸命に作業に取り組んでいただきました。作業を終えた林内は、作業前と比べ見違えるほどきれいになり、参加者からは「森林を育てるのは大変だ」、「もっと作業したかった」などの感想がありました。

今回参加された方々が、森林の大切さを理解し、「国民参加の森林整備の必要性」等を情報発信していただくことを期待しているところです。



ニッセイ友の会ボランティアの皆さん

〈各地からのたより〉



恵那山系散策の様子

【東濃森林管理署】
 神坂大檜が誘う歴史街道へ
 東山道もみじまつりを開催

十月二十日、中津川市神坂において、第十九回東山道もみじまつりが開催されました。

東山道とは、律令時代の五畿七道の一つで、現在の佐賀県を起点に岐阜県を経て東北地方に通じた幹線道路とされています。

当日は多数のイベントが開催され、多くの方が来場し賑わいを見せ、「もみじ狩りとウォーキング」のイベントに参加した職員が案内役となり、国有林内の植物や治山工事現場の説明を行いながら、紅葉が始まった恵那山系の散策を楽しみました。

当署ではこのようなイベントを通じて、森林や林業、治山事業について一人でも多くの方に関心や興味を持っていただきたいと考えています。



神坂大檜を見学する参加者

また、このウォーキングイベントの目玉でもある、森の巨人たち百選に選ばれている神坂大檜（みさかおおひ）の見学も行い、その雄大なたたずまいと当日の霧がかかった天候も相まって、参加者からは「幻想的ですね」などの感想が聞かれました。

熱田区民まつりに出展

【名古屋事務所・木曽森林ふれあい推進センター】

十月十三日、熱田区民まつりが開催されました。

名古屋事務所では、ふれあい推進センターとフォレスト・サークル・あいち（ボランティア）の協力で、ストラップとミニイスづくりを行いました。



盛況のストラップづくりの様子

サクラの枝を使ったストラップ（通称モックン）は、名古屋国際会議場のイベントホールのブースに順番待ちの列が出来るほど盛況

で、三歳の男の子から八十八歳の方まで、枝を選び、慣れないヤスリを使って思い思いの作品を仕上げ完成させたストラップを母親に見せて、「かわいいがね」と言われ、世界に一つだけのモックンを嬉しそうに持ち帰りました。



ミニイスづくりの様子

また、ミニイスづくりは、ボランティアスタッフの指導を受けながら、四十組の親子などが、ドライバーを使い、約一時間で、ミニイスを完成させました。

台風明けのイベントでしたが、都市部の方に木の良さ、温もりなどを感じていただけた一日になりました。



海野宿 写真提供：(一社) 信州とうみ観光協会

長野県東御市(とうみし)にある北国街道の宿場「海野宿」を紹介します。海野の地は、遠く千二百年前の奈良時代には附近一帯を海野郷と称し、早くから文化が開け、この地から献上された品が正倉院御物として残っています。

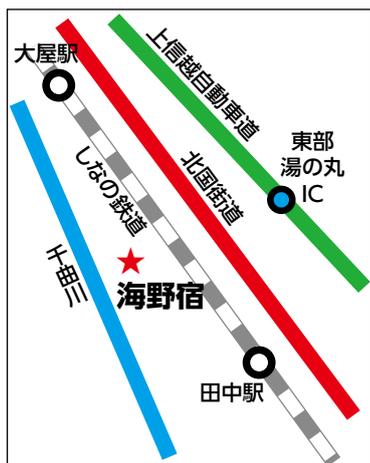


海野の高台に居をかまえた海野氏は、東信濃の軍事、交通の要衝をおさえ、その勢力は中信から北上州にまで広がっていました。江戸時代の北国街道は中山道と北陸道とを結ぶ重要な街道で、佐渡で採れた金の輸送や、北陸の諸大名が参勤交代で通った道であり、江戸との交通も頻繁で善光寺への参詣客も多く大変な賑わいを呈していました。明治時代に入り宿場の機能は失われてきましたが、海野宿の人々は宿場時代の広い部屋を利用して養蚕・蚕種業をはじめました。特に蚕種は広く関東地方から外国にまで売り出され「宿場の町から養蚕の町へ」と移り変わりました。この養蚕最盛期の明治・大正の時代に建てられた堅牢な蚕室造りの建物は、江戸時代の旅籠屋造りの建物とよく調和して現在まで残され、「日本の道百選」「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けています。

その街並みの中に見られる卯建(うだつ)には幾種類もあり、妻壁(つまかべ)を一段高く上げて小屋根をつけたものが江戸時代のもの【本卯建】であって、防火の役割りを果たし「火返し」とも呼んでいます。これが明治時代に入ると一階の屋根の上に張り出して意匠をこらし装飾を兼ねた袖壁(そでかべ)【袖卯建】が設けられるようになってきました。このような卯建は富裕の家の象徴であったといわれ「うだつが上がるぬ」という言葉も生まれています。



本うだつ (上)、袖うだつ (下)



また海野宿には格子戸(こうしど)のはまった家が続いています。一階の格子戸は明治以降に造られたものが大半で、二階格子の多くは出格子になっており、長短二本ずつ交互に組み込まれ海野宿特有の美しい模様を織り成しています。これらは、江戸時代のもので「海野格子」と呼ばれています。

◆所在地：長野県東御市本海野
◆アクセス



海野格子

海野宿には、現在も歴史の香り高い街並みが美しく残されています。是非、海野宿の魅力を探しに来てみて下さい。



川上岳から望む御嶽山

「岐阜森林管理署 馬瀬萩原森林事務所」
 首席森林官 三村 晴彦
 馬瀬萩原森林事務所は、日本三名泉として名高い温泉地、岐阜県下呂市に所在し、管轄する国有林は、県中東部にあたる飛騨川流域の十七箇所に点在し、面積は、国有林野六、二二〇鈎、官行造林地六五五鈎で、森林官、森林技術員、非常勤職員の三名で管理しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。
 そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



紅葉の清流「馬瀬川」

国有林ではこの流域を、「馬瀬溪流魚付き保全林」に指定し、地元とともに森林の保全に努めています。

管内の北には、古くから霊山として信仰されている二百名山の位山、北西部には女神伝説がまつわる三百名山の川上岳がそびえており、その二座の稜線は「天空の遊歩道」として知られています。
 また、管内を流れる馬瀬川は、平成の名水百選に選ばれ、上流域の豊かな自然に育まれた清流で、日本一アユが美味しい川として知られており、釣りの聖地として名客で賑わっています。



中間温帯針広混交林

さらに、下呂市南部の飛騨木曾川国定公園の一部に指定されている「中山七里」の渓谷には、天然性の中間温帯林が残されており、生息する動植物の種類が豊富で、林内の生物多様性が高いことから、大学などの研究機関において調査が進められています。

このような自然豊かな国有林に、近年ニホンジカが増加し、食害による森林の破壊が危惧されています。

当事務所では、森林整備や国有林の管理と共に、センサーカメラを設置し、ニホンジカ生息の把握を行い、くくり罠による捕獲を実施



中央が筆者
下呂市堂洞国有林の境界巡検にて

し、被害対策に向けた取組を行っています。
 また、異常気象による今まで経験したことのない災害が各地で発生していることから、災害に強い健全な森林づくりに向けて事業を展開していきたいと考えています。
 ■未来の担い手へのメッセージ
 森林づくりは、常に森林を観察し、必要な施策を継続していくことが重要だと考えています。残念ながら一世代では不可能で、最後まで見届けることができません。それ故に、私たちが先人から受け継いだものを次世代へ引き継ぐ必要があります。
 先人の思い入れを山から感じ取り、後世へと繋げてほしいと願っています。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



上伊那猟友会 中川支部

（燻製工房もみじ代表）

木下 直美

（狩猟歴二十一年）



写真右が筆者

■事業の概要

発注者・長野県、市町村等

主に中川村の四徳地籍から人里民有林まで、一般猟他獣の被害があるとは有害駆除に出向きます。

南信森林管理署の「ついで見回り・通報」基本合意書で調印を行った上伊那猟友会中川支部の会員で「燻製工房もみじ」代表です。

■現場での役割、魅力

中川村は険しい山が多く巻狩り（猟場を四方から取り巻き獣を追いつめて捕らえる猟）ではうまく獲物を追い込み囲めないため、山の反対から頂上の上って待つことも多くあります。狩猟をはじめた頃は緊張の連続で葉っぱの落ちる音でもドキドキしました。

今でもこの緊張感と獲物を倒した時の達成感と安堵感はたまりません。

山に入ると立ち枯れの木をよく見るようになり、これが鹿の食害によるものだと知り、鹿を捕獲している私達も山を守る一助になっていると自負しています。

我が家には四匹の猟犬がいます。駆除した獣肉を利用して犬のエサ代を賄うことを目的に5年前の平成二十六年「燻製工房もみじ」を立ち上げました。

工房では、鹿肉のジャーキー

「鹿くん」やジビエ（シカ、イノシシ）の缶詰め、ソーセージを販売しています。



燻製工房もみじで販売しているジビエの缶詰など

ジムエブームに少なからず乗ることができて多くの皆様の助けをお借りして、徐々にではありますが多くのお客様に広がりを見せています。

■狩猟の世界に入ったきっかけ

夫が猟師で各地の射撃大会に参加していて見学しているうちに興味を持ち始めましたが、血を見るのもダメな私は夫にほぼ騙されて山に連れていかれ本格的にスタートしました。

険しい山の中を苦勞して獲物を追いかける仲間達に、逃がしたら申し訳ない一心で引き金を引きました。

狩猟を始めた頃はなかなか地名も覚えられず迷惑をかけたことが、心温かな仲間達のおかげで猟師が続いています。

南信森林管理署の「ついで見回

り・通報」で鹿が捕獲された際には連絡をいただき、裏の山奥に出かけ何度も利用させていただき大変感謝しております。

■未来の担い手へのメッセージ

今、少しずつ女性のハンターが増えています。喜ばしいことです。が反対に若い男性が減っているのが残念です。

自然に向かい、命に向かって生きることの素晴らしさを分かち合っていたら素晴らしいことだと思います。

銃という命に関わる道具を使用して緊張の連続ですが、終わった後の仲間とのつながりは自分の必要性を感じることが出来る快感となるでしょう。興味のある方は是非仲間になりましょう。



狩猟の様子

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社 柳組

柳 雅聡

(二〇一九年入社)



擁壁材据え付け中の筆者

■事業の概要
請負事業：滝ヶ洞（小谷）林道
専用道新設工事

発注者：飛騨森林管理署

本工事は、飛騨市河合町滝ヶ洞

の国有林三二五二林班・三一五三林班において、林業専用道5百mを新設する工事です。基本的にはバックホーで山を削り、切土や盛土で林道を整備していきますが、適切な道幅の確保が難しい箇所には擁壁工やブロック積工を施し、水が多く出る箇所については水替工や暗渠工等を行うなど、作業環境の維持、山の機能保全を図りながら工事を行っています。



林道先線の状況（伐採後）

■現場での役割、魅力

私は、入社したばかりで現場経験も浅いため、現場監督補佐兼新米作業員として当工事に携わって

います。現場は飛騨の山奥であり、町では晴れの予報にも関わらず山では雷雨や土砂崩りなど、急な天候の変化に工程を左右されるため、現場を円滑に進める段取りだけではならず、臨機応変な対応も必要とされる大変な仕事です。しかし、飛騨の森林に関する仕事は、飛騨の自然だけでなく、下流域に住む人々を守ることもつながっているため、やりがいがあります。大きな仕事だと感じています。

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

前職は、建設コンサルタントで道路・交通の計画に携わっていましたが、私が生まれ育った飛騨に土木の面から何かしら貢献できることはないか、という思いが強くなりました。これまでデスクワークしかしてこなかった人間が、今では飛騨の豊かで、時に厳しい自然環境を相手に仕事をしており、毎日が新しい発見ばかりで、充実した日々を過ごしています。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業全体で高齢化や少子化に

よる人手・なり手不足が課題とされていますが、この課題に対し、地方部においても新しい機械・技術の導入や職場環境の改善等により、若者が働きやすい環境が整備されてきています。

「自然が大好き！」「新しいことにチャレンジしたい！」「これからの地方を若者の力で良くしたい！」という方には、最適なフィールドがありますので、若い方、ぜひ共に地方の建設業をより良いものにしていきましょう！



本現場で、これまでに整備した林道



【下旬】

①2日まで「信州のカラマツとくらし展」
 (中部局 山形村)

カラマツの特性を生かしたものをづくりをテーマに、信州からまつの特性を紹介し、家具・木工品等の展示販売やワークショップなどを行います。
 場所：アイシティ21(二階) 長野県山形村七九七七

お問い合わせ：針葉樹家具開発研究会事務局
 TEL：〇二六三二二五〇二九三



②7日「遠山の霜月祭り」
 (南信署 飯田市)

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭りは、上村・南信

濃の各神社で湯立神楽が奉納されます。祭りのクライマックスでは、天狗などの面が登場し、煮えたぎる湯を素手ではね掛け、ふりかけられた禊ぎの湯によって、一年間の邪悪を払い新しい魂をもらい新たな年を迎えます。祭りはその日の夜から翌朝まで行います。



お問い合わせ：遠山郷観光協会
 ③7日 菅平高原スノーリゾート
 オープン予定 (東信署 東御市)

バリエーション豊かな全六十コース。雪上車に乗って行く、根子岳スノーキャットツアーが大人気。

④7日 富士見パノラマリゾート
 オープン予定 (南信署 富士見町)

頂上からのロングコースでは、晴れた日には八ヶ岳を望みながらの滑走ができます。

⑤7日 ブランシユたかやまスキー場
 オープン予定 (東信署 長和町)

安心・安全なスキーヤー専用のスキー場。特に初心者・ファミリースキヤーに人気！ほとんど晴れた日が多いため、標高一八〇七mの絶景が楽しめます。日本最大級の雪遊び広場があります。

山頂からの五千mのロングコース。全十二コースは、ビギナーからエキスパートまで大満足です。
 ⑦1月5日まで TWIN ILLU MINATION 2019 光と森のページェント
 (中信署 安曇野市・大町市・松川村)

冬の風物詩となっている国営アルプスあづみの公園のイルミネーションイベントが今年も「堀金・穂高地区」「大町・松川地区」の両公園で同時開催されています。今年のテーマは「アルプス一千魔法のキラメキ」。期間中は各種イベントも開催されます。
 お問い合わせ：国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高管理センター

⑧2月上旬頃まで 白鳥の越冬
 (中信署 安曇野市)

安曇野市の冬の風物詩、コハクチョウの飛来が市内の犀川白鳥湖、御宝田遊水池など犀川周辺で始まっています。十月十六日に飛来が確認されました。初めて白鳥が安曇野を訪れて三十六シーズン目を迎えます。(飛来は十月中旬から四月頃)

⑨15日 樽池高原スキー場オープン予定
 (中信署 小谷村)

北アルプス白馬エリア最大級の広大なフィールドは、緩斜面で幅が広く、初心者や初級者からファミリーまで安心して楽しめます。

⑩15日 高鷲スノーパークオープン予定
 (岐阜署 郡上市)

初心者から上級者、ファミリーまで楽しめる多彩なコースがあります。アクセスも良好です。
 ⑪15日 ダイナランドスキー場オープン予定
 (岐阜署 郡上市)

西日本最大級のスキー場。全二十コースが楽しめます。ゲレンデイルミネーションも登場。
 ⑫18日 いづなリゾートスキー場
 オープン予定 (北信署 飯綱町)

平均幅約百mのフラットバーンなど多彩なコースバリエーションで、初心者から上級者まで存分に楽しめるスキー場です。

【下旬】

⑬下旬 北信州木島平スキー場オープン予定
 (北信署 木島平村)

メインゲレンデのスカイコースをはじめ、いづれのコースも広々とゆつたり滑れるのが特徴。爽快な眺めも木島平ならではのです。

⑭20日 富士見高原スキー場オープン予定
 (南信署 富士見町)

キッズランドが充実しており、スキーのできないお子様連れでも楽しむことができます。
 ⑮21日 戸狩温泉スキー場オープン予定
 (北信署 飯山市)



曲川が広がる贅沢なロケーションを体感。

⑮21日 飯綱高原スキー場オープン予定 (北信署 長野市)

初心者からエキスパートまでバラエティに富んだコースがあり、それぞれのスタイルにあわせたスキーを満喫していただけます。

⑯21日 やぶはら高原スキー場オープン予定 (木曽署 木祖村)

国道十九号線から十分、ストレスを感じることなくスキー場へのアクセスが可能。本格的なパウダースノーと奥木曽に広がる大自然を全身で感じることがができます。

⑰20～22日 「岐阜城パノラマ夜景」の開催 (岐阜署 岐阜市)

金華山国有林の山頂、岐阜城から眺める夜景は、オーロラに例えられる大パノラマが広がります。夜景期間中、岐阜城のライトアップは滅灯され、金華山ロープウェイは夜間割引運賃で毎日午後九時まで運行されます。

⑱21日 スタージュブール緑風リゾートひだ流葉オープン予定 (飛騨署 飛騨市)

眺めの良い尾根や急斜面、そしてワイドな緩斜面と多彩なコース。山頂裏側にはブナ林のゲレンデを隠し持ち、上級者も楽しめます。

⑳21日 軽井沢・白糸の滝真冬のライトアップ 17時～19時 (東信署 軽井沢町)

軽井沢町の観光名所白糸の滝にて、夜の白糸の滝の素顔を楽しんでいただくためのライトアップを行うイベントが開催されています。開催期間は十二月二十一日～二十四日、一月四日～五日・十一日～十三日、二月一日～二日・七日～十一日、十四日～十五日(二月のみ十七時三十分～十九時三十分)

問い合わせ：白糸ハイランドウェイ TEL:0267-311-0070

㉑22日 宇奈月温泉スキー場開き式(安全祈願祭) (富山署 黒部市)

宇奈月温泉スキー場のオープンにあわせ、安全祈願祭として「スキー場開き式」が行われます。式典後は、振舞いも予定されています。



宇奈月温泉すぐそばにスキー場があり、アフタースキーには温泉でゆっくと暖まることもできます。

㉒29日 ひるがの高原スキー場オープン予定 (岐阜署 郡上市)

交通アクセスが最高。初心者向けのコースはゲレンデデビューに最適。キッズパークやスノーラフティング、子供の雪遊びにも最適。

㉓31日 斑尾高原スキー場 カウントダウン花火 (北信署 飯山市)

大晦日の斑尾高原スキー場で「カウントダウン花火」が開催されます。雪山から流れる幻想的な松明滑走と百八発の花火が、新年の願いとともに夜空を彩ります。

㉔31日 野沢温泉スキー場 大晦日ナイト&カウントダウン花火 (北信署 野沢温泉村)

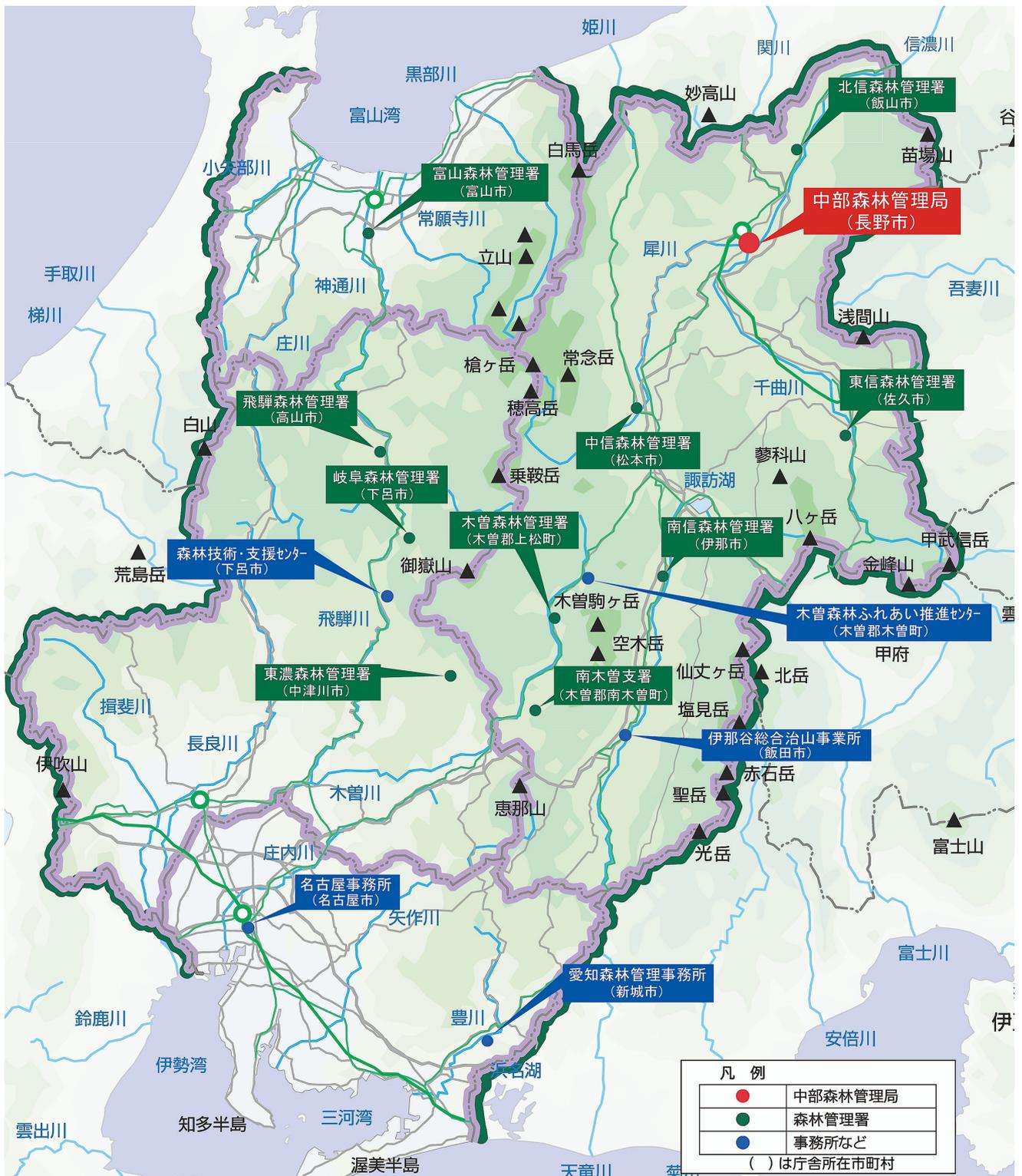
大晦日カウントダウンと年明けとともに打ち上がるゲレンデ花火！年明けを花火とともにスキー場で迎えましょう！樽酒の振舞いやホットワインサービスもあります。

編集長だより

あなたのお気に入りの一枚！お待ちしております！

冬の便りが、各地から聞こえてきました。いよいよ、ウィンターシーズンに突入です。中部局管内では、各スキー場が、順次オープンしております。また、この時期は、標高の高い山の頂に降り積もった初雪、中下段に紅葉の赤や黄色、そして、針葉樹の緑色と幻想的な風景に出会うことができます。まだまだ、色づく季節！小さい秋を見つけに森へ出かけませんか。

☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
 ※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①～⑳のいずれか)、撮影日を入記してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。
 ☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業業界へのご興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149